笠原児童館 事業評価表 ※25年度から、事業参加人数を仕様書項目で重複して数えないように統一したため、平成24年度の人数と単純比較はできません。

					年度	評価	平成2	4年度の実施状況	平成2	5年度 <i>の</i>)実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25	1 7%2	1 - 1 人 () 人 () () ()	1 /2/2	· - / Z • /		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	参	加人数	
										乳幼児	714	・年齢ごとに3つにクラス分けをし、発達に合わせた運動や製作・遊びを通して子育て支援を行った。定期的にアンケートを取り、リトミックや散歩・保健センターと連携したおやつ作りなど、保護者のニーズを把握し、積極的に取
		【乳幼児クラブ】 ・ベビーズクラブ	年16回						48	小学生	2	リ入れる事で充実した活動を行う事が出来た。また、3クラブそれぞれで笠原保育園と交流し、児童館だけでなく保育園へ出向き、リズム遊びや絵本・
		・わんわんクラブ ・ちびっこクラブ	十10回						40	中高生	0	プールなどさまざまな関わりを持つ事が出来た。今後もアンケートや日々の会話などを通して利用者のニーズを把握し、適切な子育て支援を行うととも
				目標回数:90回程度						大人	655	に、積極的に地域と交流し、連携を図っていく。
		Γ ** =π 3		乳幼児の親子が様々な						乳幼児		・ネイティブの先生による英語あそびや、英語の歌・リトミックなどを行った。 親子の触れ合いの中で、楽しみながら英語に触れる事ができ、大変好評を
		【英語】 ・クリスパパの英語であそぼう	前期8回 年15回	活動に参加できる場を提供し、育児について					32	小学生	U	得ている。参加した保護者の方の口コミが広がり、参加人数も増えているた
		英語はおもちゃ	十12回	の情報交換や仲間づく						中高生 大人	195	め、26年度は園児対象のクラスを計画している。
対象とした事業乳幼児と保護者を		【企画行事】		りを進めることにより子 育てを支援する。年齢 ごとの集団での親子遊	4	11				乳幼児		・自由参加の事業では、来館した誰もが気軽に参加できる様、分かりやす い掲示や声掛けを心がけた。節句や季節にちなんだ製作など、乳幼児親子
とは保護	1	・お話ランド・親子でTRY・乳幼児水遊び	月1~2回程	び、集団遊びを通じて、楽しむ中で情報を得た					22	小学生	15	が簡単に参加できる内容を考え、おひな様や節分の豆箱など、大変喜ばれた。お話しランドでは、その日その日の絵本を楽しみに来館される方もある。
事費者を		・おりがみランド ・プレゼントづくり ・防犯講習「子どもをまもろう」	度	り、仲間づくりをしたりす ることによって子育てを 支援する。					22	中高生	1	・企画行事では夏期水遊びを行った。毎年楽しみにされており、参加者も多く、子どもスタッフとして小・中学生と乳幼児親子の触れ合いなども行った。
		「別犯講自「子ともとよもづり」								大人		今後も自由参加の事業を通し、初めて来館される方や乳幼児の保護者同士が繋がる場を提供し、子育ち支援をしていく。
		【母親クラブ】								乳幼児	163	・母親クラブは、児童館まつり・防犯講習・その他地域のイベントなどで児童館と共催し、積極的に活動した。乳幼児クラブで母親クラブの紹介をし、新
		・児童館まつり ・防犯講習	月1回						12	小学生	5	しい会員を積極的に募集した。今後も声掛け等、会員数の増加に務め、活動の幅を広げる等、幅広い支援をしていく。
		・ハロウィン ・いこまい祭など								中高生 大人	179	
								乳幼児 1370		乳幼児	1310	
				/	/			小学生 72		小学生	22	
		小計					119	中高生 23	114	中高生	1	
								大人 1174		大人	1204	

					年度	評価	亚成2	4年度の実施状況	亚成?	5年度の	実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25			十八人	5千尺(7)	天 心状儿	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	参	加人数	
		[乳幼児	11	・小学生クラブの活動を広く知ってもらう為、おたよりへの記載・声掛けだけでなく、小学校の昼の放送で子ども達に紹介してもらい周知に努めた。 ・一輪車クラブでは、活動発表の場として笠原いこまい祭のステージに出演した。仲間と共に練習し教え合い、振り付けなどを相談しながら最後まで協
	【小学生クラブ】 ・一輪車クラブ ・どれみクラブ ・もぐもぐクラブ ・キックジュニア		月1回~2回						66	小学生	521	力し作り上げた。夏休みの企画行事「一輪車にチャレンジ」では、一輪車の 経験のない児童が参加し、クラブのメンバーがお手本となり、教え合いなが ら活動した。 ・どれみクラブでは、手話を使った合唱やハンドベルに取り組み、地域・児童
児		・キックジュニア ・ファンシークラブ ・つくちゃおうクラブ		目標回数:100回程度						中高生	8	館のイベント等に積極的に参加した。 ・もぐもぐクラブは、大変人気があり参加人数が増えた。自宅ではなかなか出来ない調理体験を通し、ルールを学ぶと共に、仲間と協力し楽しみながら活動する事が出来た。
童を対象				し、自主性や創造性を 育て、協調性を養うとと もに障がいのある児童 も共に遊ぶことができる	4	11				大人	8	・つくっちゃおうクラブは、単発事業として始めたが、参加者が定着してきた 為小学生クラブとして行う事となった。今後は男子も積極的に参加できる内 容を検討していく。
ے ا	1			場をつくり相互理解を深 める。						乳幼児	3	・季節行事では七夕かざり作り、工作では敬老の日のプレゼント作りを行った。自由参加の事業であるが、意欲をもって取り組む事が出来る様、子ども 達の意見も取り入れながら実施した。
を事業		【企画行事】 ・長期休み勉強会 ・TRYつくってみよう	間 1週間程度						34	小学生	195	大八姓, 15 T D 位 4 L D 在 2 L D L D L D D D D D D D D D D D D D D
		・一輪車にチャレンジ	・随時 ・長期休み期 間							中高生		児・小学生が参加し、一輪車クラブのメンバーと共に教え合い、協力しなが ら楽しく練習した。夏休みの最後に表彰式を行い、一輪車に興味をもった児
										大人	15	童がクラブに入った為メンバーの増加に繋がった。
								乳幼児 50		乳幼児	14	
		小計					106	小学生 782	100	小学生	716	
								中高生 14		中高生	12	
								大人 62		大人	23	

	Ī				年度	評価	平成24	1年度の実施状況	平成2	5年度0	D実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25			1 774-	- 1,20		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	参	ѷ加人数	
										乳幼児	11	・おひなさま、こいのぼり、七夕かざりなど家庭で行うことが少なくなりつつある節句行事の体験を通して日本の伝統に触れ、地域の高齢者の方々から
		【節句行事】 ・おひな様の製作	随時						2	小学生	0	節句の言われなどのお話を伺う良い機会を得られた。 ・けん玉、こま、かるたなど日本の古くから伝わる遊びを地域の方々と一緒 に行い、達人の技を披露していただきながら子どもたちに伝承遊びの楽しさ
		・こいのぼり製作 ・七タかざりづくり	 						2	中高生	11	を伝える良い機会を得られた。 ・今後も積極的に近隣施設に出向き、ますます地域に根付いた児童館を目指すと共に、児童館を媒体として様々な世代の方々が気軽に、安全に、安
										大人	0	相りと共に、元里間を媒体として様々な世代の方々が気軽に、女主に、女 心して交流できる場を提供したい。
		FAt co. 17								乳幼児	00	・「七タフェスティバル」秋の「児童館まつり」と季節ごとにイベントを開催。たくさんの地域ボランティアの方々に支えて頂き、子ども達と一緒に内容を話
		【館イベント】 ・七タフェスティバル	•7/7(日)						2	小学生	59	し合いながら行った。乳幼児から保護者の方々まで世代を超えて参加者皆
		・児童館まつり	•11/1/(日)	目標回数:12回程度						中高生		で楽しむ事ができた。
		F 11 /44 /		行事や児童館まつりな						大人	150 164	
多世		【共催行事(地域行事)】 ・サマータイムガーデン	•7/27(土)	ど誰でもが参加できる 行事を実施し、地域間	4	11				乳幼児 小学生	101	メントの仕除ず マムマニ ジタキナにい旧辛始の割切皮が方士・4
代		かさはらふれあい福祉まつりいこまい祭	•10/20(日)	及び多世代間の交流を 深め、子どもが育つ環					3	中高生	21	ベントの体験ノースやステージ完装を行い児里朗の認知度が高まつに。 どれみクラブ・一輪車クラブは、イベントのステージ発表を目標とすること で、日々の取り組みの励みとなり良い経験となった。
間	1	でによい家		境づくりを地域ぐるみで						大人	213	
交流				取り組む。						乳幼児	1	・クリスマスの由来を知り、みんなでカード作りを行った。英語でメッセージを
事業		【伝承あそび】	12/4(土)						1	小学生	6	書く子どももおり、楽しんで参加する事が出来た。
		・クリスマスカードづくり	12/4(上)						'	中高生	0	
										大人	0	
		【共催行事】								乳幼児	79	・地域のお年寄りの方々に教えて頂き、笠原で古くから伝わる伝統菓子「お こしもの」を作った。乳幼児親子や小学生も参加し、伝統を受け継いでいく
		・お正月フェスティバル ・おひなさまの型おこし	·1/19(日) ·3/29(土)							小学生	121	良い機会となった。今後もさらに、若いお母さん世代の参加を増やしていき
		・多治見健康ハッピーフェスタ	•7/14(日)						4	中高生	31	たい。 ・地域イベントへの参加や、5館合同での共催事業など、今後も積極的に関
		・移動児童館(中央児童館餅つき 大会)	•12/1(日)							大人	267	わり連携をしていく。
						<u> </u>		乳幼児 1302		乳幼児	315	
		J. 21		/			-	小学生 2153	-	小学生	282	
		小計					16	中高生 628	-l 12	中高生	79	
								大人 1811		大人	630	

	য				年度	評価	平成2	4年度の実施状況	平成2	!5年度(の実施状況	
項目	分分	具体的内容	実施日		H24	H25		T		1		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	₹	参加人数	
		[王 / / - -]								乳幼児		十亦な証だった 久休みという事まなり 公親・妇公母の参加まみられ 冬
		【季節行事】 ・書き初め	1/4(土)						4	小学生		世代で楽しむ事が出来た。書きあげた作品の一部をお借りし、館内で書き
										中高生		初め展を開き来館者の方々に見て頂いた。
— 般										大人	16	 ・一人でも集団でも楽しめる内容の工夫をした。折り紙や画用紙を使い、紙
来館				目標回数:50回程度						乳幼児	183	飛行機をつくりみんなで飛ばして遊んだり、一人で来館した児童は、数独や 間違い探しなどにチャレンジした。
者(乳		【企画行事】 ・ニュースポーツ ・チャレラン	随時	乳幼児から大人まで参加者を限定しない、日					75	小学生	194	・父の日、母の日、敬老の日など、日頃の感謝を込め、大切な人へのプレゼント作りを行った。折り紙や画用紙を使用し、小学生でも一人で簡単に参加出来る内容を工夫した。乳幼児親子さんの参加もあり、大変喜んで頂い
幼児か	が 記 い う	TRYつくってみよう プレゼント作り ミッキーマウスマーチダンス	[AZZ-1]	頃、誰でもが参加できる 遊びや行事を実施し、 初めての人の来館・参	4	11			,,	中高生	7	た。 ・5月から8月にかけ、毎週水・木・金曜日に、親子ひろばと共催で乳幼児から大人まで気軽に参加できる事業を企画。時間になると「ミッキーマウス
ら大人				加を促すとともに、参加 者相互の交流を深め る。						大人	183	マーチ」のダンスを楽しみに来館される方もあり、祖父母など、幅広い年代で触れ合った。8月のいこまい祭では、一般の来場者の方も参加し、ステージで披露した。
。 を										乳幼児	71	・避難訓練は、非常時に備え毎月1回は必ず行っている。毎回館内の非常 用放送設備を使用し、どの職員でも使える様徹底している。また、隣の診療
を 対 象		【避難訓練·防犯防災訓練】 ·火災訓練	月1回						12	小学生	11	所と合同での避難訓練や、消防署との連携で消火訓練・煙体験などを行い、日頃からの意識を高めた。
ع ا		·煙体験 ·不審者対応訓練	月四						12	中高生	4	・来館した際の受付簿の記入等、周知徹底に努めた。
たた		I E H M C TO BOTTON								大人	66	
事業								乳幼児 247		乳幼児	267	
	美			_				小学生 159		小学生		
		小計					58	中高生 14	- 91	中高生		
								大人 198		大人	265	
ļ	ļ								ļ			

	_				年度	評価	平成2	4年度の実施状況	平成2	5年度 <i>の</i>)実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25		. 11200 70,10 00,10	1 750-		- J () () ()	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	参	∮加人数	
										乳幼児	6	・児童館をよく利用する児童数人がリーダーとなり、職員の誕生日会を開いてくれた。自分達で企画し、ポスターや招待状の準備などを計画し、仲間同士で役割分担を決め一輪車の演奏や歌などを披露した。自分達で考え、計
子		【その他ボランティア活動】 ・行事の企画・運営 ・館周整備	月1回程度	目標回数:12回程度					21	小学生	65	画する事の楽しさを実感し、様々な場面で活かして行ける様サポートしてい 📗
子どもボ		・児童館ファーム ・子どもスタッフ	77.112	児童館内でボランティア 活動の場を設定し、地	5	12				中高生	5	いかと尋ねてくれる児童もある。調理室の清掃や整頓、モップ掛けなど、仲間と楽しみながら参加する姿がある。 ・地域の方に教わりながら、夏野菜や花などを育て、仲間と共に触れ合い、
ランテ				域の子どもたちが、それ ぞれの地域で活動でき るよう人材育成を進め	J	12				大人	7	貴重な経験をしている。特に、じゃがいもの種植えに興味を持ち、たくさんの 児童が参加した。
1	1	【クリーン大作戦】		る。						乳幼児	1	・自分達の児童館は自分達できれいにしようと、定期的に職員が声をかけ、 行っている。きっかけは与えるが、出来るだけ子どもの自主性を大切にして
ア 事		・館内清掃・おもちゃの清掃	月1回程度						8	小学生	57	いる。子ども達にとっては掃除も遊びの一つとなり、楽しそうに参加する姿がある。
業の		・調理室の整頓								中高生	2	<i>™</i> , 80, 40, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 1
実								乳幼児 17		大人	1	
施					/			乳幼児 17 小学生 119		乳幼児 小学生	122	
		小計					23	中高生 3	29	中高生	7	
								大人 16		大人	8	
										乳幼児	0	
		【中高生の居場事】 ・中高生会議	随時	目標回数:6回程度					1	小学生	0	う事が出来る中高生の居場所づくりとして、今後も広げて行きたい。 ・中高生が学習するスペースの確保として、図書室に南姫中学校から寄贈
		・中高生会議・中高生公議	1.2.1	古古七笠杉町 仏田 L拉					'	中高生	2	された机とベンチを配置した。長期休みなどで有効活用していく。
				中高生等が乳幼児と接 する機会を持てるように						大人	0	
l .		【中高生ボランティア】		するなど、次世代の子 育て支援につなげてい	4	10				乳幼児	0	・児童館のイベントや、サマータイムガーデンなどで食べ物ブースを出店。メニューの内容から、中に入れる具材・ネーミング・値段など、すべてを中高
中高		・中高生レストラン (サマータイムガーデン・児童館ま	. 年4同程度	くため、地域に応じた事						小学生	0	生が主体となり、話し合い進めた。また、他の児童館へも「出前中高生レストラン」として出向き、他の地域の方々とも交流を持つ事が出来た。
生事	1	つり・出前中高生レストラン)		業の実施及び中高生等 の居場所の確保に取り					11	中高生	30	・館イベントなどの遊びのコーナーで 幼児や小学生と触れ会い交流を持っ
業		・中高生ボランティア(イベント等の 手伝い)		組む。							4	た。順番に並ぶ事や遊びの中でのルールを伝えると共に、事故や怪我の無い様見守ってくれ、児童館にとって欠かせない力となっている。
						L				大人	4	
								乳幼児 26		乳幼児	0	
		小計					40	小学生 22	- 12	小学生	0	
								中高生 154 大人 48		中高生	32	
				/				大人 48		大人	4	

					年度	評価	平成2	4年度の実施状況	平成2	5年度 <i>(</i> 1)実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25		4千尺の天旭仏が	77,2	.0 千 反 0.	ノ夫心が	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加人数	実施回数	参	ѷ加人数	
子				目標回数:10回程度						乳幼児	3	・毎月1回、子育て相談日を設けている。相談日を選んで来館される方はほとんど居ない為、乳幼児の保護者の方が来館された際は、必ず声掛けを
育 て		【相談業務】 ・子育て相談日	月1回	気軽に相談できる場や					13	小学生	0	し、コミュニケーションを取っている。また、乳幼児クラブなど、日頃から気軽 に声がかけられるような雰囲気づくりに努めている。相談内容によっては集
相談		· 于月 C 伯談 D	•• —	関係機関への相談窓口 として相談を受ける。イ					13	中高生	0	会室などを使い、保健センターや他機関との連携も図っている。
車				ンターネットによる相談	4	10				大人	3	・今後も親子ひろばをはじめ、関係機関と連携し、支援を行う。
くりの推進く業と子育てネ		【子育て講演会等】		受付や専門員による相談の場を設定する。母						乳幼児	20	・防災体験講座を実施し、防災グッズの紹介やつくり方、防災食の試食などを行った。参加者のアンケートによると、防災食が興味深かった、改めて防
の子の音	1	・子育て講座	年1回程度	子保健推進員・主任児童委員・保健センター・					1	小学生	0	を行うた。 参加者のアンケートによると、防火長が興味床かった、 成めて防 災について考える機会となり大変ためになった等、好評だった。
推って土				子育て支援センターと						中高生	0	
ーネッ				の連携を図る。						大人	24	
トワ					/			乳幼児 57		乳幼児	23	
ĺ		小計					17	小学生 3 中高生 0	14	小学生 中高生	0	
クづ								大人 87		大人	27	
調理体験										乳幼児		・地域で活動されている「食育クラブ」の方にご協力頂き、親子対象のクッキングを定期的に開催している。旬の食材を使って簡単に調理できるレシピを考案され子どもも美味しく食べられると好評を得ている。 ・「ファーミリークッキング」は、60代以上の男性サークル『ヘルスアップ』の
調理講		・食育親子クッキング	-8/12(月)	目標回数:18回程度 親子、中高生が参加で きる調理の実習、講座 及び教室を実施し、料	4	11			19	小学生		皆様との多世代交流の料理事業であり、小学生が喜んで参加している。世代の離れた地域の方々に丁寧に教えて頂きながら、調理、盛り付け、後片付けまでを共に行っている。学校での出来事や昔話などを語らいながら食卓を囲み、とても良い経験となっている。また、自宅での積極的なお手伝い
座の実施	1	食育クラブクッキング	•年8回程度 •年1回程度	受いるとしている。 はいるというでは、 はいるにはいるというでは、 はいるというでは、 はいるというでは、 はいるというでは、 はいるというでは、	7				10	中高生		などに繋がった。 ・児童館ファームで育てた野菜やグリーンカーテンのゴーヤ等を料理に活用し、食の循環に取り組んでいる。 ・今後も単発事業やクラブの茶話会、イベントなど、安全に留意して調理室を大いに活用していく事業を企画していきたい。
										大人	218	・「中高生クッキング」は参加者が集まらず、開催できなかったが、開催時期 や募集方法等を見直し実現させたい。
								乳幼児 86		乳幼児	45	
		小計					21	小学生 39	19	小学生	28	
								中高生 0		中高生	0	
				/				大人 224		大人	218	

					年度	評価	च ≓ः	4年度の	主体化识	ग सं १	5年度の	実施状況	
項目	区分	具体的内容	実施日		H24	H25	, ,,,,		天心1人儿	干!戏2	0十尺07	大心仏が	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	年度	年度	実施回数	参加	加人数	実施回数	参	加人数	
		【移動児童館】 ・マレットゴルフ大会	•月1回								乳幼児	197	・平和マレットゴルフ場でマレット大会を行った。お年寄りの方から中・高生 ボランティアまでの幅広い年代で交流する場として機能している。
		・春うららさくらまつり	·4/14(日) ·10/12(土)							10	小学生	110	・要拾し、しまけりなど。他の児童館と共催し、多世代で交流する良し機会
地域		・栗ひろい ・いもほり	•11/2(土)	目標回数:12回程度							中高生	20	となった。
の		•楽市楽座	•11/10(日)	児童館児童センターが	4	11					大人	333	
特性を活		【企画行事】		所在している地域の特性を活かした事業を実							乳幼児	2	・児童館の花壇に植えてあるブラックベリーの収穫を行う予定だったが、参 加者が居なかった。たくさんの方に参加して頂ける様、今後は開催日や声
を		・どんどこプロジェクト	.,	施すること。						2	小学生	0	掛け等検討していく。
か	טי ב	・地域触れ合い事業(正月遊び)	•1/8(水)								中高生	0	・地域のお年寄りの方々とお正月あそびで交流した。親子ひろばと共催し、 コマづくりや、福笑い・けん玉など、昔から伝わる伝承あそびで楽しんだ。
し た						L,					大人	3	
た 事								乳幼児	199		乳幼児	199	
業		小計					13	小学生	239	12	小学生	110	
								中高生	15		中高生	20	
	-							大人	390		大人	336	 ・特定非営利活動法人ワーカーズコープが毎年開催している「子育てフォー
自主事業											乳幼児 小学生	0	ラム」を、25年度は「子ども・若者フォーラム」をテーマとして当事者参加型
て事		【子育てフォーラム】			4	-				0	中高生	0	のフォーラムを開催しましたが、県外で行った為、自主事業とならなかった。
											大人	0	
(あれば	2							乳幼児	0		乳幼児	0	
いば	小計	₩₽					0	小学生	0	0	小学生	0	
記入		小町					U	中高生	0		中高生	0	
î		 						大人	133		大人	0	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等にない自主事業は「2」を記入。

- ※「年度評価欄」は、次の内容で記入。
- ・24年度 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上 ・25年度 期待以上:15~12点例年通り:11~9点、例年よりやや劣る:8~7点、例年より劣る:6~3点例年よりかなり劣る 2~0点

指定管理施設(笠原親子ひろば)事業評価表 平成 25 年度

事業目標:子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合える相互に交流を図る場を提供すること。

項目	区分	具体的内容	年度評価 H24 H25		平成	24年度の	の実施状況	平成	25年度0	の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
	//		年度	年度	実施回数		参加人数	実施回数		参加人数	
						乳幼児	971		乳幼児	1085	お母さんの膝の上でリズムに乗ったり、絵本の読み聞かせを聞いたり、 職員と一緒に飛んだり跳ねたり笑ったり、ひろばタイムは明るい笑い声が
		ひろばふれあいタイム			103	大人	857	154	大人	924	締ったかった ユビナの集由もの共結時問笙で成長の度合いが測り
						その他	97		その他		親子との接し方の目安になった。
		企画行事 (父の日プレゼント				乳幼児	36		乳幼児	34	ミッキーマウスマーチを踊ろうでは、夏のいこまい祭りでの発表を目指し 練習に励んだことで、同じ目標を持つ一体感が生まれた。クリスマス会
子	子 1	作り・ミッキーマウスマーチを踊ろ う・敬老の日のプレゼント作り・クリ			4	大人	34	4	大人	30	は、簡単なゲームやリズム遊び、サンタさんからのプレゼント等、利用者
提って		スマス会)	5	10		その他	0		その他	U	の満足度の高さから、利用者増に繋がった。
公親			Э	13		乳幼児	0		乳幼児	13	未就園児対象なので、小さいプールの中で楽しく過ごせ、お盆期間中は お父さんの参加もみられた。
交の流の	1	幼児水遊び			0	大人	0	2	大人	12	近くにプールが無く、家庭用プールの準備も大変であるため、このよう
の充						その他	0		その他		企画はすごく嬉しいとの声が聞かれた。毎年続けたいと思う。
促の						乳幼児	13		乳幼児	21	ハロウィンに因んで折り紙でかぼちゃを折ったり、お正月遊びで駒を作ったり、節分の豆入れを作ったりと季節行事に合わせて小物を制作した。
一場の		エ作ランド			1	大人	11	4	大人	16	家庭に持ち帰って使用してもらえるもの作りをテーマに、クオリティの高
						その他	2		その他	0	い物作りを心掛けた結果、お父さんに話すきっかけとなり、ひろばへの父親の来館に繋がった。
					1	乳幼児	1020		乳幼児	1153	
		小計	/			大人	902	_	大人	982	
		77-81				その他	99		その他	116	

	D		年度	評価	平成24年度の実施状況			平成	25年度0	の実施状況	
項目	区分	具体的内容	H24	H25							取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			年度	年度	実施回数		参加人数	実施回数		参加人数	
						乳幼児	111		乳幼児	125	傍に寄り添い、何気ない会話を交わしながら、お母さんの悩みを傾聴した。 た。そして職員の経験を話すと、お母さんも力が抜けて笑顔も見られた。
		子育て育児相談日			33	大人	94	40	大人	98	傍に寄り添い、何気ない会話を交わしながら、お母さんの悩みを傾聴した。そして職員の経験を話すと、お母さんも力が抜けて笑顔も見られた。 病気が心配される場合は、周辺の医療機関につないだ。悩みを聞き出 すのではなく、母の気持ちに寄り添う姿勢が利用者に安心感を抱かせる
						その他	7		その他	5	ことになり、次回の来館へと繋がった。
_]			乳幼児	139		乳幼児	106	身長・体重測定。測定値は用紙に記入して渡した。 子供の成長は、お母さんにとって何よりの喜びである。毎月楽しみに測
子 育	子 育 て 援等	大きくなったかな			39	大人	116	18	大人	91	定にみえるお母さんも多く、また、要望があれば事業日以外でも測定した。 結果、子どもの成長が良くわかり、相談や雰囲気づくりのヒントになっ
て			5	12		その他	19		その他	1	<i>t</i> =。
助に						乳幼児	0		乳幼児	69	笠原児童館との共催事業。非常放送設備を使用しての単独訓練や、消 防署の協力を得ての大きな訓練など、災害に対する知識を確認すること
の関実す	1	避難訓練			0	大人	0	13	大人		が出来た。
施る						その他	0		その他	6	
相談						乳幼児	0		乳幼児	• •	青空保育でも子育て相談を受け付けている。偶々訪れた公園で、専門性のある先生と話をすることは、顔なじみの先生には相談できない方
``		企画行事 (青空保育)			0	大人	0	2	大人	35	や、なかなか相談に出向けない方には心を開きやすい状況であり、関係 をつなぐ機会となる。また、各支援センターとの共催であることから、手作り
						その他	0		その他		おもちゃや手遊び等は非常に勉強になった。
						乳幼児	250		乳幼児	339	
		小計	/		72	大人	210	73	大人	288	
			\vee			その他	26		その他	12	

	区		年度	評価	. 平成:	24年度0	の実施状況	平成	25年度0	の実施状況	
項目	区分	具体的内容	H24	H25					1		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			年度	年度	実施回数		参加人数	実施回数		参加人数	
						乳幼児	0		乳幼児	83	神明神社や笠原保育園等へ散歩に出かけ、現地で絵本を読み聞かせたり、どんぐりや栗を拾ったり、設置の大型遊具で遊んだりした。また、周辺のお勧めスポットを地図に現し紹介したところ大好評で、「お勧めは親
		かさはらさんぽ			0	大人	0	11	大人	69	辺のお勧めスポットを地図に現し紹介したところ大好評で、「お勧めは親子ひろば!」と言う利用者もみえた。散歩の場所選びの参考にしたり、子
地						その他	0		その他	1	連れで気軽に行けるお店の紹介の材料に出来た。
域 育						乳幼児	26		乳幼児	41	譲り合いが目的で、まだ十分使用できるものを持ち寄って提供し合った。 利用者さんからの要望の声も多い事業で、提供者も多い。何かと子育て
て		地球に優しいひろばの日	4	11	3	大人	23	4	大人	37	にはお金がかかるだけに、無料で手に入るのは魅力的だと大好評だっ
関連	1					その他	2		その他		た。家庭の不要物を見直すきっかけになり、今後とも定期的に行っていきたい。
情 報		人面红市				乳幼児	128		乳幼児	165	楽市楽座では、地域の色々な物産や団体の情報を得ることが出来た。 また、お正月遊びの後に、参加された地域の方から、地域のイベント情
の		企画行事 (楽市楽座・お正月遊び)			14	大人	110	2	大人		報を紹介していただき、利用者に参加を呼び掛けた。地域の活性化に繋
提供						その他	16		その他	75	かる事未となった。
						乳幼児	154		乳幼児	289	
		小計			17	大人	133		大人	249	
				<u> </u>		その他	18		その他	76	お母さんたちにリフレッシュしてもらうのが狙いの事業で、分かりやすい
		このほく わかつつづ			10	乳幼児	123 105		乳幼児	07	指導で大変好評だった。季節に応じたヨガで参加者も活き活きと出来
		aiのほんわかママヨガ			12	大人その他	8	13	大人 その他	83	た。日頃の運動不足が解消出来て楽しかったとの声を頂いた。更には、 ママ友作りの場となり、大変和やかな空間作りが出来た。
子育ておよび						乳幼児	0		乳幼児	62	 ハワイアンメロディにのってフラダンスを楽しんだ。特にお母さんに心身
でする		さわやかママフラ	5	11	0	大人	0		大人		ともにリフレッシュしてもらうことが狙いで、参加者は大変意欲的で、家で も練習したいと申し出るお母さんも数名いた。1曲を踊りきるという目標が
は講が			Ü			その他	0		その他		出来るため、次回の来館に繋がり、利用者増にも繋がった。
習子	習ひ 1 習子 1 等 _音					乳幼児	108		乳幼児	53	0歳から3歳のための分かりやすい救命講習では、消防署職員が普段の 生活の中に潜む危険について説明された。警察本部タンポポ班の講習
するで		企画行事 (救命講習・たんぽぽ 班講座・子育て講座)			10	大人	93	6	大人		は、寸劇もあり子供も飽きることなく聞けた。また、職員の経験などから、
美支 施 _坪		が神圧・丁月(神圧)				その他	32		その他	14	風邪予防や、火傷の処置法の話をした。けがや病気の意識や認識の再確認に繋がった。
抜に						乳幼児	231		乳幼児	212	
		小計	/		22	大人	198	29	大人	183	
						その他	40		その他	20	

項目	区	具体的内容	年度	評価	. 平成:	24年度0	の実施状況	平成	25年度の	の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
垻日 	区分	共体的内谷	H24 年度	H25 年度	実施回数		参加人数	実施回数		参加人数	収組み、成果、利用有の両定及*評価、味超が何、自己評価 -
						乳幼児	26		乳幼児	52	おはぎに綿菓子、西瓜落としゲームやバルーンアート、大正琴の演奏など、地域の方々にご協力頂き盛況に終えることが出来た。スタンプラリー
		3周年記念春のお祝い会			1	大人	42	1	大人	32	にしたのが大変良かった。1年、1年、地域の方々や利用者の方々との繋がりが強く、深くなっていくことを肌で感じた。ひろばの在り方を改めて意
						その他	20		その他	0	識した事業となった。
						乳幼児	204		乳幼児	155	夏の水遊びの際の見守りや、水遊び後の絵本の読み聞かせを担当してもらった。 意欲的に取り組めた福祉祭りでは積極的に受付をしてくれた。
		子どもスタッフ受け入れ			27	大人	143	11	大人	108	児童館祭りは、中学生がもう少し役割を意識して動けるとよかった。ひろばでは中高生・大学生との交流事業が困難なため、今後の大きな課題
						その他	98		その他		である。
						乳幼児	118		乳幼児	154	お父さんの家での様子や子供との関わり方を何気ない会話の中で聞いたり、いつもお仕事がんばってくれてるお父さんにメッセージを書いたりし
そ	そ の 自 し 上	パパのこと教えて			12	大人	84	18	大人	136	てもらった。普段言えない事を伝えるのも結構いいと好評だった。お父さしたとの会話にひろばが話題となるきっかけとなり、お父さんに興味をもっ
自自他	自他子					その他	20		その他		てもらえる事業となった。
土子的育な	自主的な	 - 企画行事 (楽市楽座・おばあ	5	12		乳幼児	1520		乳幼児	851	多治見楽市楽座は、可愛い玉入れのゲームブースでの参加で大変盛況 だった。お正月遊びでおばあちゃんと遊ぼうは、福笑いや駒作りで盛り 上がった。防災体験講座は災害に対する関心の高さが伺えた。日曜にマ
な事業の宝	2	ちゃんと遊ぼう・防災体験・福祉祭 り・いこまい祭り・パパズホリデイ)			16	大人	1025	28	大人	620	エがうた。
		, c 2000 %, y c w 3 tip y 7 7 7				その他	1868		その他		ろばの活動を知ってもらうきっかけになった。
施い						乳幼児	0		乳幼児	127	池田・共栄・笠原各支援センター共催事業。太平公園で大型遊具(池田 支援セ所有)で遊んだり、絵本等の読み聞かせや手遊びを提供した。公
て		青空保育			0	大人	0	4	大人	100	園を訪れた親子さんの明るい笑い声があふれた。親子ひろばという施設 名を知ってもららい、他の地域のお母さん同士が繋がるきっかけになっ
						その他	0		その他		た。
						乳幼児	18		乳幼児		ドレミクラブの発表や、笠原中学校吹奏楽部の演奏、ひろば職員のミニ シアター「こぶとり爺さん」、五平餅や綿菓子の食べ物ブース、ゲーム
		笠原児童館まつり			1	大人	0	1	大人	U	ブース等多くの出し物を児童館と企画し、地域の方の協力も得て大変盛り上がった。ひろばと児童館の連携の大切さを感じる事業となり、利用者
						その他			その他	0	さんに、それを知ってもらうことが出来る事業となった。
						乳幼児	1886		乳幼児	1375	Wash-111 & +# & L-+ # # / \$
		小計	/		57	大人	1294	63	大人	996	※24年度と比べ、事業参加者数が大幅に減ったのは、カウント方法 変更によるためである。
		71.81				その他	2006		その他	261	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等にない自主事業は「2」を記入。

- ※「年度評価欄」は、次の内容で記入。
- ・24年度 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上
- ・25年度 期待以上:15~12点例年通り:11~9点、例年よりやや劣る:8~7点、例年より劣る:6~3点例年よりかなり劣る 2~0点